

2 学年だよ

夢の宅配便

2 年学年主任

水野 高代治

再開された運動会 受け継がなければならないもの

新型コロナウイルスの影響で学校の行事が中断されていました。去年から規模を縮小して半日で行う運動会を再開しました。1年生から3年生まで完全実施していた運動会を知る生徒は誰もいない状況となってしまいました。先生方も新しく来た先生方は、城山中学校の完全実施の運動会を体験していません。

城山中学校の運動会はその校風の通り、「生徒が作り上げる運動会」で、生徒の自治的な活動の集大成でもあります。例年、城山中学校に赴任してきた先生方は運動会の取り組みを見て、「すごい生徒たちですね。」「生徒たちがここまで行うのですか」「びっくりしました。感動しました。」などの感想をもらし、城山中学校が他の中学校と違うパワーを持っていることに気がつかれます。どの学校もブロックを作って運動会を盛り上げていますが、城山中学校はブロックの3年生が中心になって種目の説明を下級生に行い、3年生が練習計画を立ててブロック練習を行っていきます。また、運動会実行委員の生徒が開会式や閉会式、全体練習の運営を行っていきます。各種委員会の生徒は、それぞれの係(用具、放送、観察、招集など)を受け持って自主的に活動します。入退場などの練習は、ほとんど一回で終わります。生徒一人ひとりが自覚して動いているので、説明をされれば、すぐに行動できるのです。この自覚が他の学校と決定的に異なるところだと思います。退場や入場は教師が指導しなくても、みんな走ってスムーズに進めていました。実行委員長が最初の注意事項で、「入退場は駆け足でお願いします。時間を有効に使いましょう。」と言えば、みんな走って入退場をしていました。一人ひとりが理解して言われたことを行動する。それができるのが城山中の伝統であり、非常に大人っぽい集団なのだと思います。

昨日、全校体操の「体操の隊形にひらけ!」のかけ声の後に、全校生徒が歩いて広がっていくのを見て、びっくりしました。全校体操は、体操の隊形にすぐに関くところから一つの演技です。歩いて隊形になる学校などあり得ません。この「体操の隊形にひらけ」を何度も練習するのがよくある学校ですが、城山中学校は「走ってお願いします」の一言で全校ができますので、体操の隊形に関く練習などする必要もないわけです。一人ひとりが自覚を持って、行動できる城山中学校の「自治」の校風を意識して欲しいと思います。言われたことは一回で行う。大人っぽい集団であって欲しいと思います。